

# Exion製箱実演

## ジョブ再現性アップ 新機能も紹介

日本紙工機械G

### 1面から

実演機は、給紙↓折込みA↓折込みB↓本折りトロンポン↓コンベアの標準構成。サイズ(幅)が同じ2種類のワンタッチケースを使用、セット替え後はより難易度が高くて大幅短縮した。



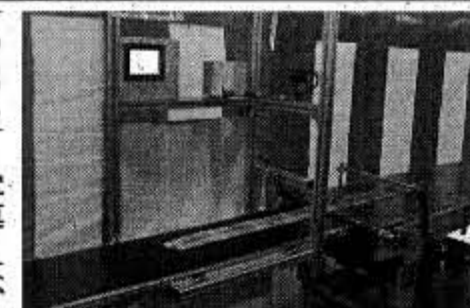
新型グルアの実演、生産性や操作性に注目が集まった

「底浅ケース」を製箱した。新方式のフレーム位置制御システムや本折りフレーム高さのデジタル化など自動化によって、ジョブ再現性を飛躍的に高め、作業時間を従来の約5分から2分にまで行われた。

実演機は開発3台目で、関東のボックスメーカーに出荷する。すでに2台がボックスで稼働しているが、納入先からは「一つの問合せもなく、順調に稼働している。高評価で、やはりセット時間の大幅短縮の効果を実感していただけだ」と(早部副社長)。

「価格は既存機とほぼ同等。順次切り替えてゆが、使い慣れた既存モデルを求める方もいるため、エクシオンの比率を高めつつも並行してゆく」方針である。

LAZER COU



「写真」は、「ENTER」=写真=は、コンベア上に流れる製品の区分位置をレーザー光線で示すため、横から叩いてスラすなどの従来方式で製品に傷が付き易かった問題を解消。半年から1年後の実用化を目指している。「今回は参出品だったが、改めて期待の大きさを感じた」(同)。

早部副社長「写真」だが、初期の頃とは「来年2月に既存機GXシリーズをフルモデルチェンジした紙器用Nexia(ネクシア)を発表する。さらには春頃には、トライフ開発スピードは確実に上がる。以前を目的に、以前から定程度完成している」と、リノベーションの業」として磨き上げてきたが、アウトプット(提案)とともに、イ

「開発進め、提案力も向上」

「2割、サービス・メン」



「開発進め、提案力も向上」

日本紙工機械G

## 新型段ボール用グルア発表

### Exion2300 生産、操作性向上

「Exion」を発売し、3日間、80名以上が参加した。早部副社長は、

「Exion」を発売し、3日間、80名以上が参加した。早部副社長は、



段ボール用ワンタッチケースグルア「Exion」

「Exion」を発売し、3日間、80名以上が参加した。早部副社長は、

「Exion」を発売し、3日間、80名以上が参加した。早部副社長は、

「Exion」を発売し、3日間、80名以上が参加した。早部副社長は、

「Exion」を発売し、3日間、80名以上が参加した。早部副社長は、

「Exion」を発売し、3日間、80名以上が参加した。早部副社長は、

「Exion」を発売し、3日間、80名以上が参加した。早部副社長は、

【2面に続く】